

ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	萩原 かおり
主な担当科目	ミュージカル卒業公演演習,ヴォーカル
2024年の教育目標・授業に臨む姿勢	昨年同様、クラス授業、個人レッスンともに、常に理論的な説明を、そして学生が自身で考えるきっかけを作れるよう心掛けたい。 特に個人レッスンにおいては、学生各々の特徴を理解し、短期的な結果に捉われず、4年間を見据えた上でその能力をしっかりと育てられるような指導を行いたい。
2024年の教育に関する自己評価	個人レッスンにおいては、それぞれの学修時間に見合った成長が見られるような指導が行えたと感じている。 クラス単位の演習授業においても、なぜそうなるのか、どうすればそれを改善できるのかについて、受講生全員が自分の事として考えられる様な言葉選びができたのではないかと思う。
2024年のFD活動に関する自己評価	大学におけるミュージカルに関する教育について、ミュージカルコース教員間の連携を図り、ディプロマポリシーに向けて各カリキュラムの役割、目的を明確に共有することに尽力した。
授業改善のために取り入れた研修内容	ミュージカルコース内の各授業について、それぞれに連携を取りながら進めて行くために各科目の役割について教員間で共有できる様、ディスカッションの場を持った。

2024 年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2099 教員名:萩原 かおり

1)アンケート結果に対する所見

科目によっては回答者が少ないので、回答を促すためのアナウンスをもう少し積極的に行うべきだと感じた。

2)要望への対応・改善方策

回答済みの学生は、教育目標などを理解し積極的に取り組んだ様子が窺えるので、今後も授業ごとの目的をしっかりと見据え、授業に臨みたい。

3)今後の課題

アンケートに答えることは、学生達自身が授業の意義を再確認できる機会でもあるため、その観点からもアンケートへの回答を勧めたいと思う。

以 上